



発行者 楽しい株式会社
 住所 北九州市若松区向洋町10番1
 北九州エコタウン実証研究エリア内
 Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303
 E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

食べておいしい『メリーズシステム』

『メリーズシステム』では、ハチドリの皆様のご協力を頂きながら、5年の歳月を掛けて土づくりを行ってきました。『メリーズシステム』の土づくりは、各事業所に設置されている食品残渣発酵分解機によって、減量された一次発酵物を、6ヶ月に1度リサイクル研究センターに回収し2次・3次発酵させ完熟堆肥にします。できた完熟堆肥は、更に微量必須ミネラル剤を混合して硝酸塩低減剤となります。完成した硝酸塩低減剤は、『和み(なごみ)』と命名し安全・安心な野菜の生産の強力な味方となって活躍するハチドリとなります。『和み』は、安全・安心な農作物となって生命のエネルギーを供給するハチドリです。



『メリーズシステム』での三段階堆肥

楽しい(株)では、『メリーズシステム』確立において以下の研究開発に取り組んできました。

- 一段階 塩分、油脂分が少なく、完熟させた(C/N比最適)害のない堆肥
- 二段階 完熟堆肥に有用微生物(リサイクル竹炭に着床)を適量含んだ良質完熟堆肥
- 三段階 有用微量必須ミネラル剤と焼酎燻蒸養分を加え、有害な硝酸態窒素を抑制し、肥料の使用量を減らせて、糖度およびクロロフィル(葉緑素)、収穫量を向上させる利用価値の高い土壌改良剤(『和み』)

『和み』から安全・安心な野菜供給までの流れ

『和み』を使ってみよう(肥料登録完了済)

『和み』は、従来使われている農業資材に10%混合するだけで元気な安全・安心な農作物を栽培できる土壌改良剤です。使用方法も非常に簡単です。

農地での施用

種を播く前や、苗の定植をする前に『和み』を散布します。農機具などで均一に混合できる場合は、すき込んだ方が効果的ですが、散布でもしっかり効果が出ます。『和み』は、1平方(m²)当たり150g、1アール当たり15kgを施用します。

育苗からの施用

育苗トレイに種を播いた後、上からふたをする様に『和み』を散布します。『和み』は、細かいパウダー状なので散布後は霧吹きなどで散水し、土に馴染ませます。

プランターでの施用

種を播く前や、苗の定植をする前に土に『和み』を散布します。プランターでは、混ぜ込む作業が比較的容易にできるので『和み』散布後、丁寧に混ぜ込むと効果的です。『和み』は、20Lサイズのプランターで約20gを施用します。

個人差はありますが、ひとつかみで約5gです。

『メリーズシステム』から生まれた安全・安心な野菜

メリーズシステムでは、『和み』を使ってできた安全・安心な農作物の販売を行っております。45年間有機農業を続けられている大分県下郷農業協同組合を軸に連携し、メリーズシステムに参加されている各種事業所のハチドリの皆様に、食品循環資源のリサイクルを体感して頂き、経済メリットや企業価値向上にも役立っています。

当社は、下郷農協が『和み』を使ってできた有機野菜やお茶、合鴨農法で栽培したお米、安全な有機飼料で育てた鶏の卵、豚肉、牛肉も販売しております。
 詳しくは、担当竹村まで

~食品残渣発酵分解機を利用するハチドリの『和み』利用例~

事例 カーニバル(北九州市;地域密着型スーパーマーケット)

環境に配慮した取組みを展開されているカーニバルでは『和み』を混ぜた土を観葉植物の鉢植えに使用し、会員登録されているお客様に誕生日プレゼントとして配っています。



事例 佐田病院(福岡市中央区)

現在、『和み』を使ったトマトなどの栽培を実験的に病院の屋上で行っています。先々は、リハビリを含めた憩いのスペースとして屋上緑化を考えています。



重量	『和み』			
	1kg	5kg	10kg	15kg
価格(円)	472	2,362	4,725	7,087

価格は、消費税込、送料別です。

<トピックス>

『メリーズシステム』に液肥(開発中)が加わります
 今年度は、新たに液状硝酸塩低減剤(液肥)を開発します。液肥化システムが加わることで、より経済性の合ったリサイクルループが可能になります。(来年度事業化予定)

『メリーズシステム』が、経済産業省平成19年度「環境配慮活動活性化促進事業(グリーン・サービサイジング事業)」の委託事業に決定しました!!
 詳細は、ハチドリ通心8月号にてご紹介いたします。

『和み』プレゼント

『和み』1kgを先着20名にプレゼントいたします。裏面の応募用紙の必要事項をメール又はFAXで返信下さい。



ハチドリ通心(信)は楽しい株式会社のホームページでご覧いただけます。URL: www.fun-c.jp/

(今月号は松尾たかき・竹田が担当しました。)

「ハチドリのひとつしずく」いま、私にできること

この物語は、南アメリカの先住民に伝わるお話です。

森が燃えていました。

森の生き物たちはわれ先にと逃げて行きました。

でもクリキンディという名のハチドリだけは、いったり来たりくちばしで水の

しずくを一滴ずつ運んでは火の上に落としていきます。

動物たちがそれを見て「そんなことをしていったい何になるんだ」と笑っています。

クリキンディはこう答えました。

「私にできることをしているだけ」

7月号プレゼント申込み票

FAX : 093-752-5303

E-mail : ceres@fun-c.jp

住 所		
会社名		
氏 名		
TEL	FAX	
<メールアドレス>		
毎月ハチドリ通心のメール配信を希望	する	しない
<ご意見欄>		